

地域産業復旧復興支援事業 釜石商工会議所(岩手県)



「釜石産品首都圏販路拡大支援事業（藤沢市民まつり）」

【事業目的】

東日本大震災後、藤沢商工会議所において、被災地域支援として、被災地食品のアンテナショップを設置した。現在、釜石市では、被災した食品製造事業所はほぼ復旧してきており、販売できる商品が増えてきておりますが、釜石市の事業者においては、震災前より、地元の素材を活かした商品開発力の不足、また、販売促進の力が無い。という課題があった。

本事業においては、藤沢商工会議所のアンテナショップのネットワークを活用して、釜石特産品コーナーの設置を行い、首都圏消費者へ釜石の商品を知ってもらう機会としたい。また、首都圏消費者の購買動向を地元事業者へフィードバックすることにより、アンテナショップへの出展をしながら商品開発力の向上及び販路開拓につなげることを目的とする。

【事業実施状況・成果】

日時：平成25年9月25日（日）10時～17時

場所：藤沢駅北口サンパール広場

売上：11事業所27商品 312,678円

（実施状況）

様々な客層に来店いただきました。

アンテナショップで好評の商品を中心に、設備の関係や配送の問題等から販売が難しい冷凍食品も販売した。

また、ポスター、チラシ、パンフレットを活用し、今回販売できなかった商品を中心にPRしました。

（成果）

釜石の特産品を広くPR、販売することが出来たほか、釜石市の知名度の向上が図れました。

しかし、一般の商品に比べ値段の高い商品が多いため、購入されないで帰るお客さんが見受けられました。三陸ブランドをうまく宣伝、活用しながら販売することが重要であり、また、一般消費者が手頃に購入できる価格設定の商品開発も必要であると感じた。

また、零細事業者など実績の乏しい事業者にとっては、首都圏での継続的な物産展の機会は販路拡大にとっても重要であることから、今後も開催し、顧客を増やしながら、知名度の向上等、築き上げていきたいものである。更には新商品開発により、販路等の向上が期待できる。

【今後予想される事業効果】

本事業において、藤沢商工会議所アンテナショップでの今後の販売、品揃えの向上につながる。また、本イベントでの消費者が求める商品傾向を釜石の食品製造事業者へフィードバックすることにより、販路開拓の一助となる。